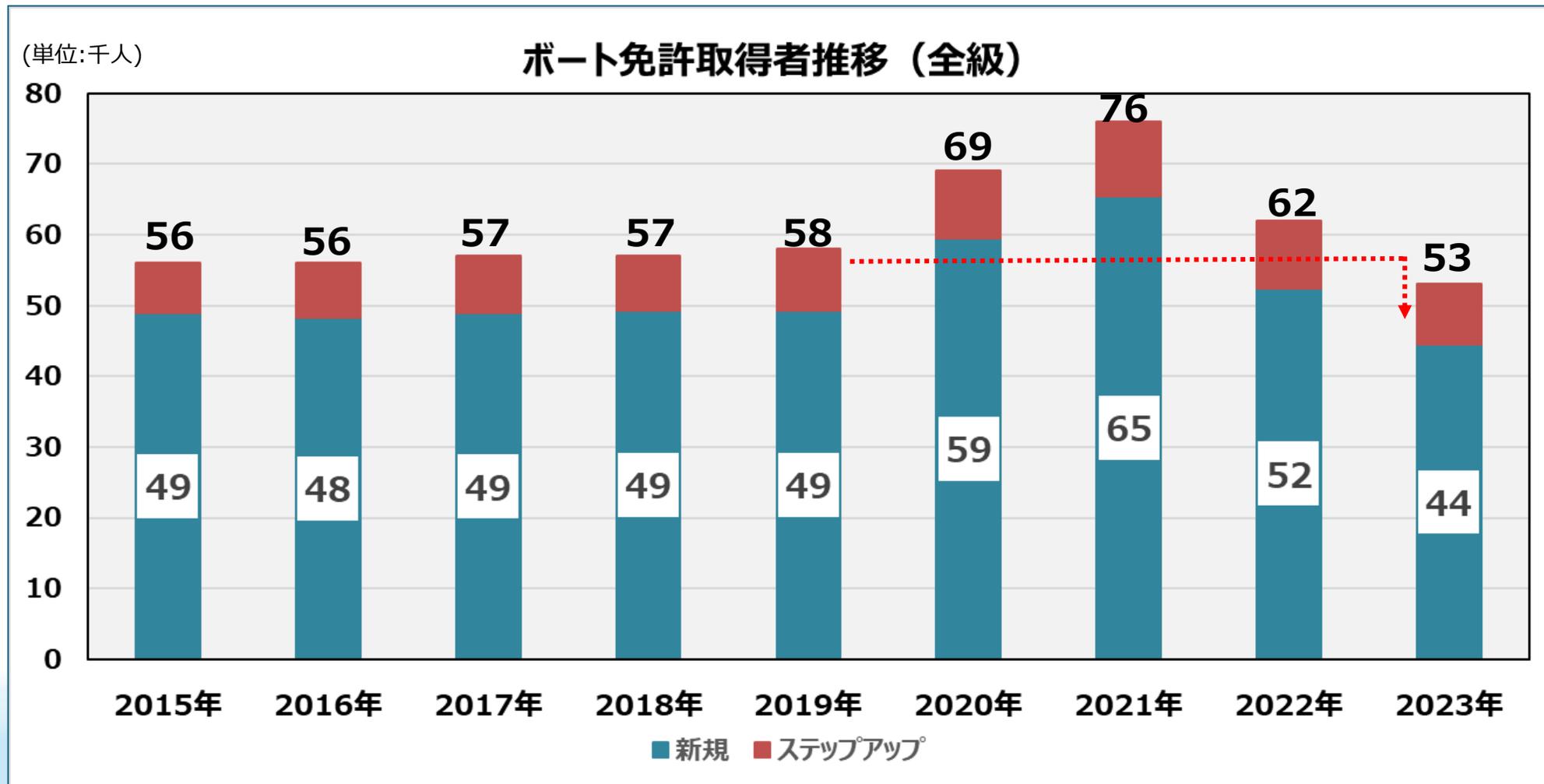


# 令和5年 マリン業界の市場動向

令和6年3月  
一般社団法人 日本マリン事業協会

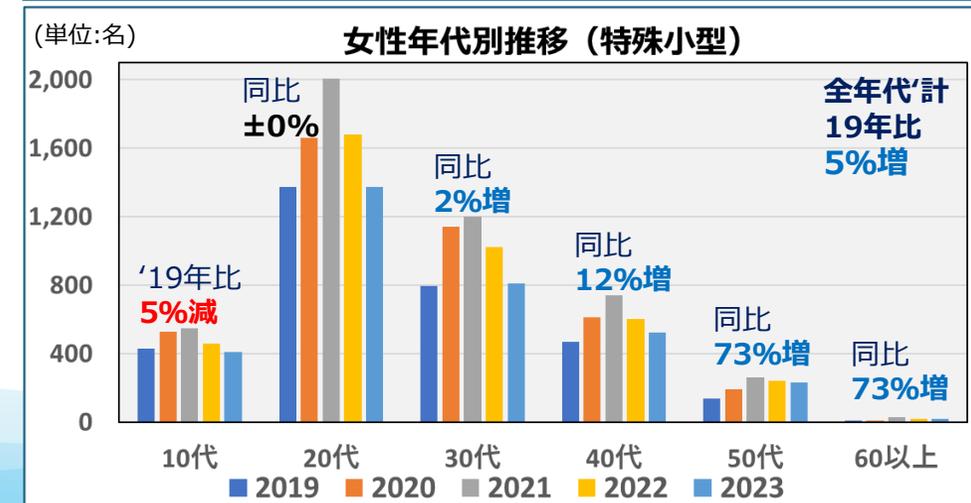
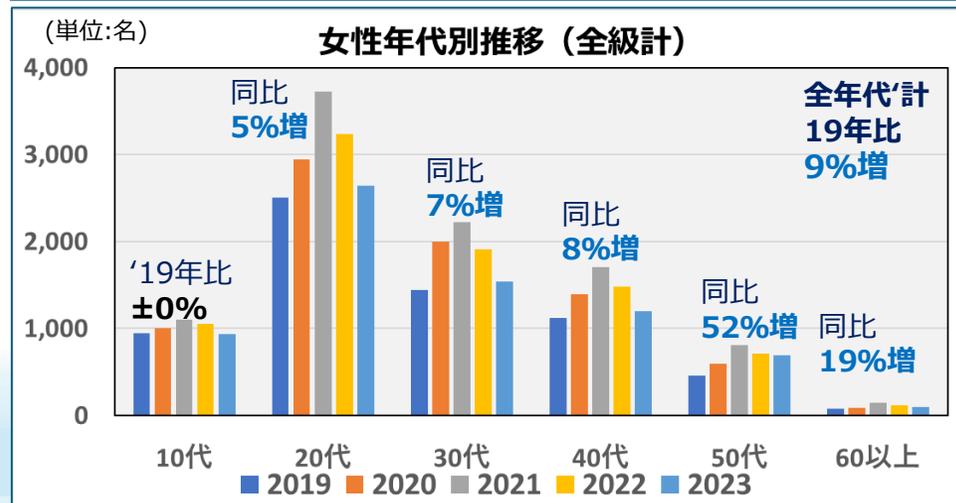
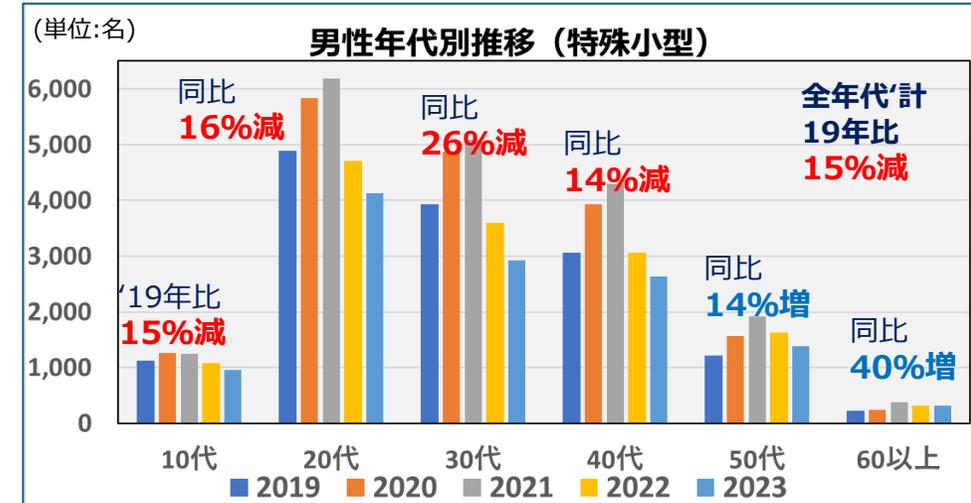
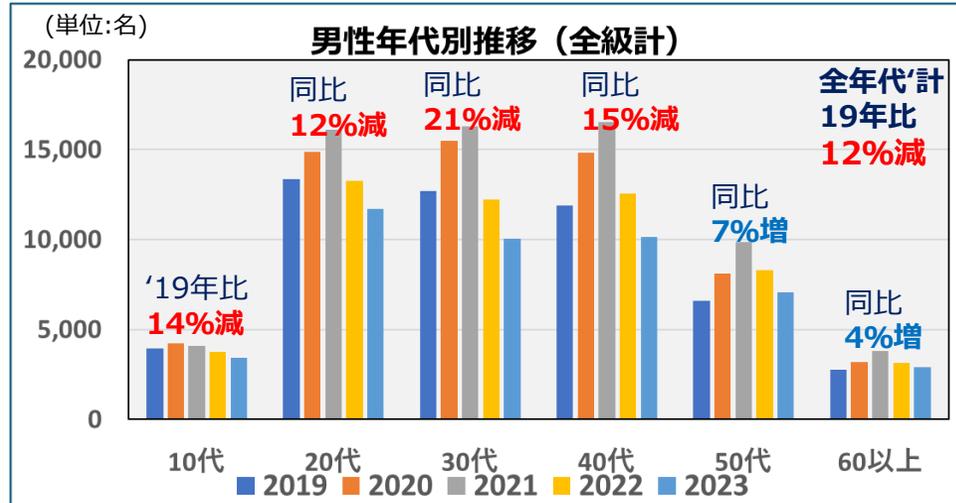
## 「コロナ禍 ボート免許取得者は増加から減少へ」

コロナ禍 密を避けて“海で遊ぶ”ためにピーク 65千人（新規）から減少傾向  
コロナ前'19年比較比10%減で規模としては2014年レベルへ



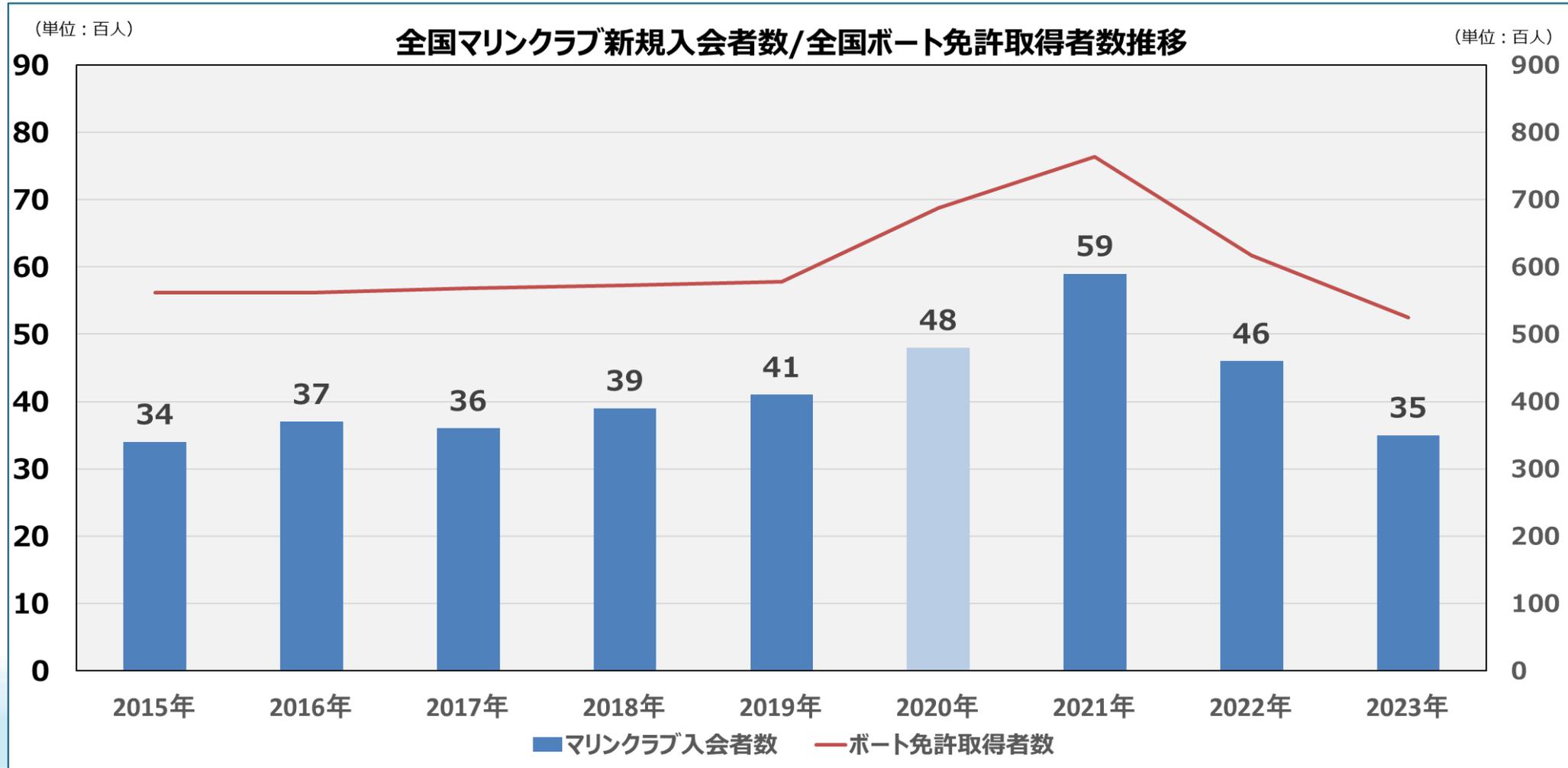
## 「アフターコロナ コロナ以前から女性のボート免許取得者増加」

前年減もコロナ以前19年と比較すると、**男性12%減、女性9%増**  
女性は特に40代以上の増加が目立つ



### 「アフターコロナ シェアリング需要は免許取得者数に影響を受ける」

シェアリングの新規入会者数'21年ピークに減少傾向 コロナ前'19年比較15%減少  
過去10年免許取得者数/マリンクラブ入会者相関率94.5%

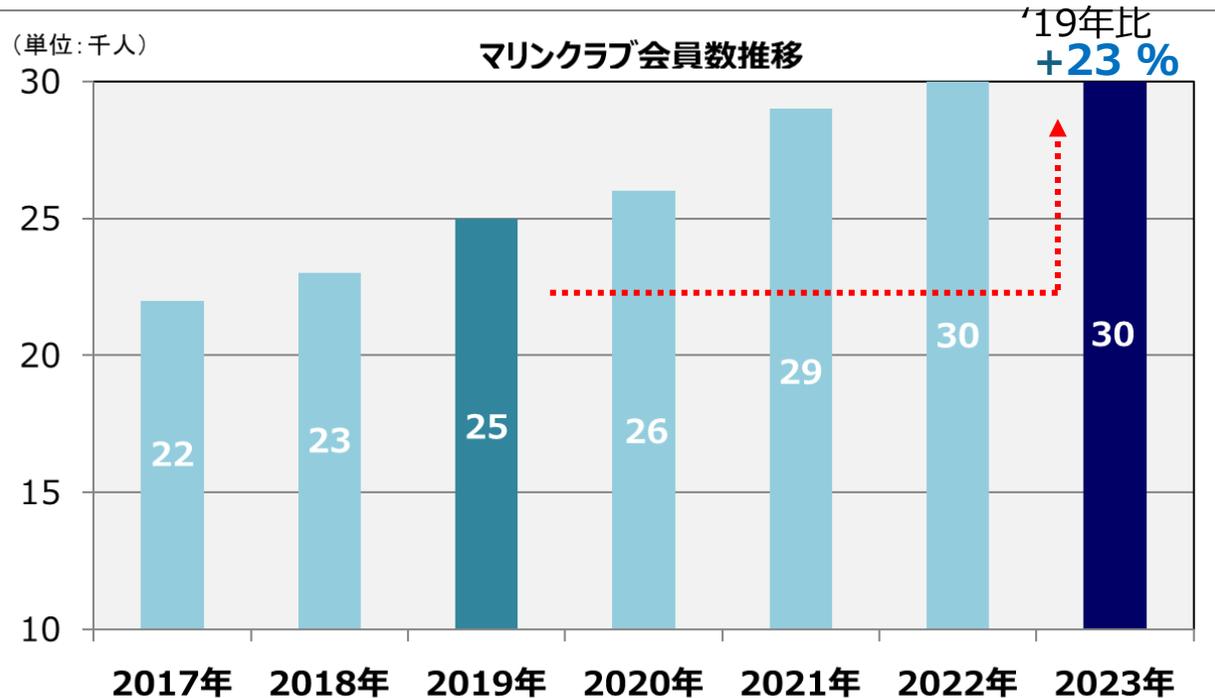


### 「アフターコロナ シェアリング会員数と利用回数はコロナ以前より伸長」

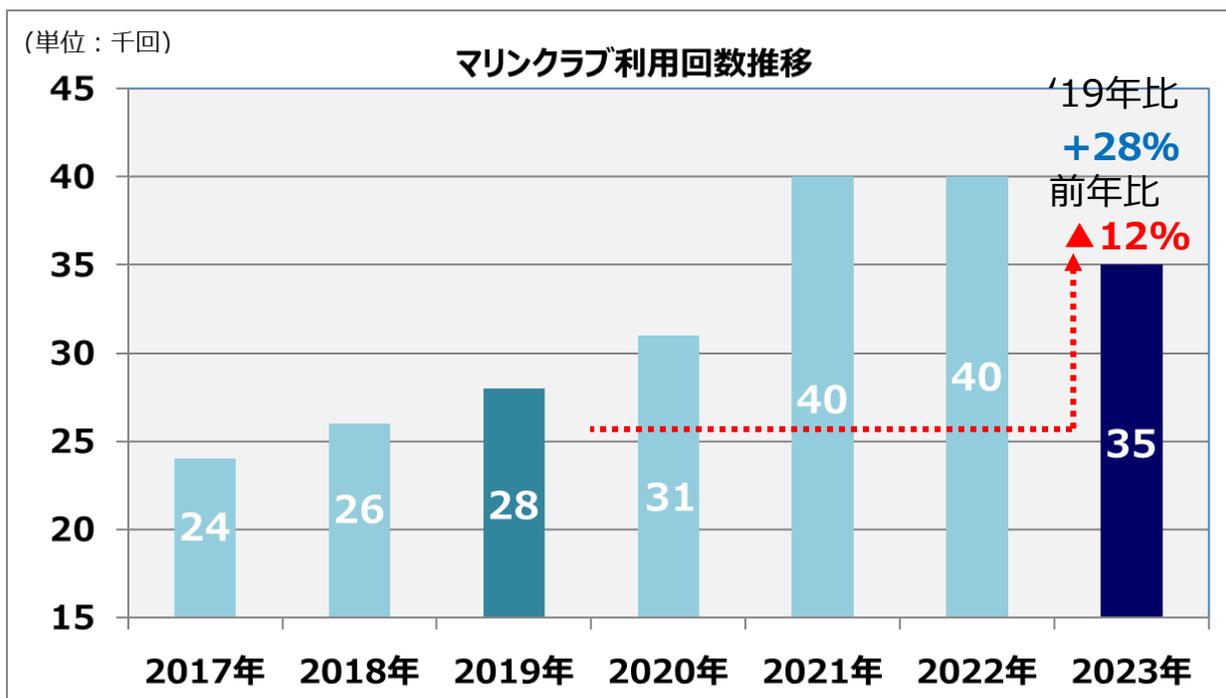
海外旅行等コロナ以前に戻る中 シェアリング在籍会員数は前年並も利用回数は前年を下回る

在籍会員数は22～23年はほぼ変化なし  
23年のレンタルポート会員数は、約3万人  
コロナ前'19年からは**23%増**

23年のレンタルポート利用回数は、約3.5万回  
前年からは大幅減もコロナ前'19年からは**28%増**  
1名/利用率 '19年 1.23%⇒'23年 1.27%



\* 出展：全国主なマリンクラブ



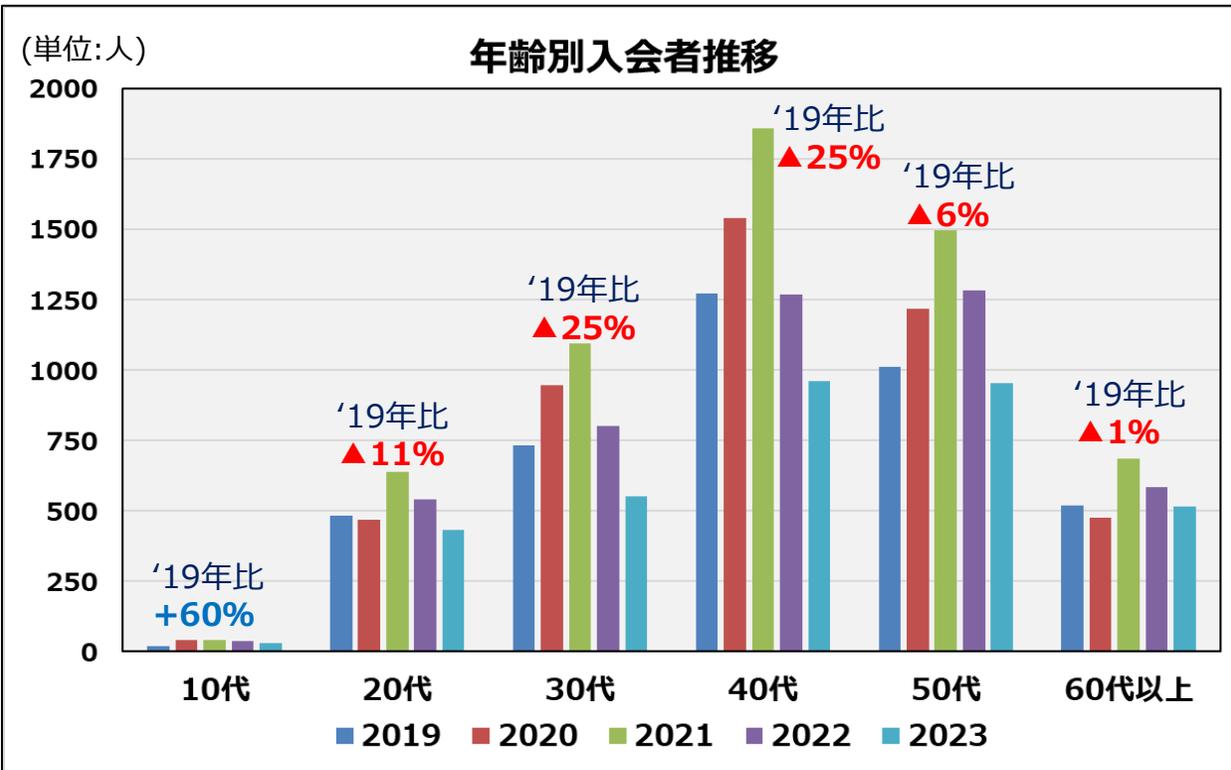
\* 出展：全国主なマリンクラブ

### 「アフターコロナ シェアリング需要は免許取得者数に影響を受ける」

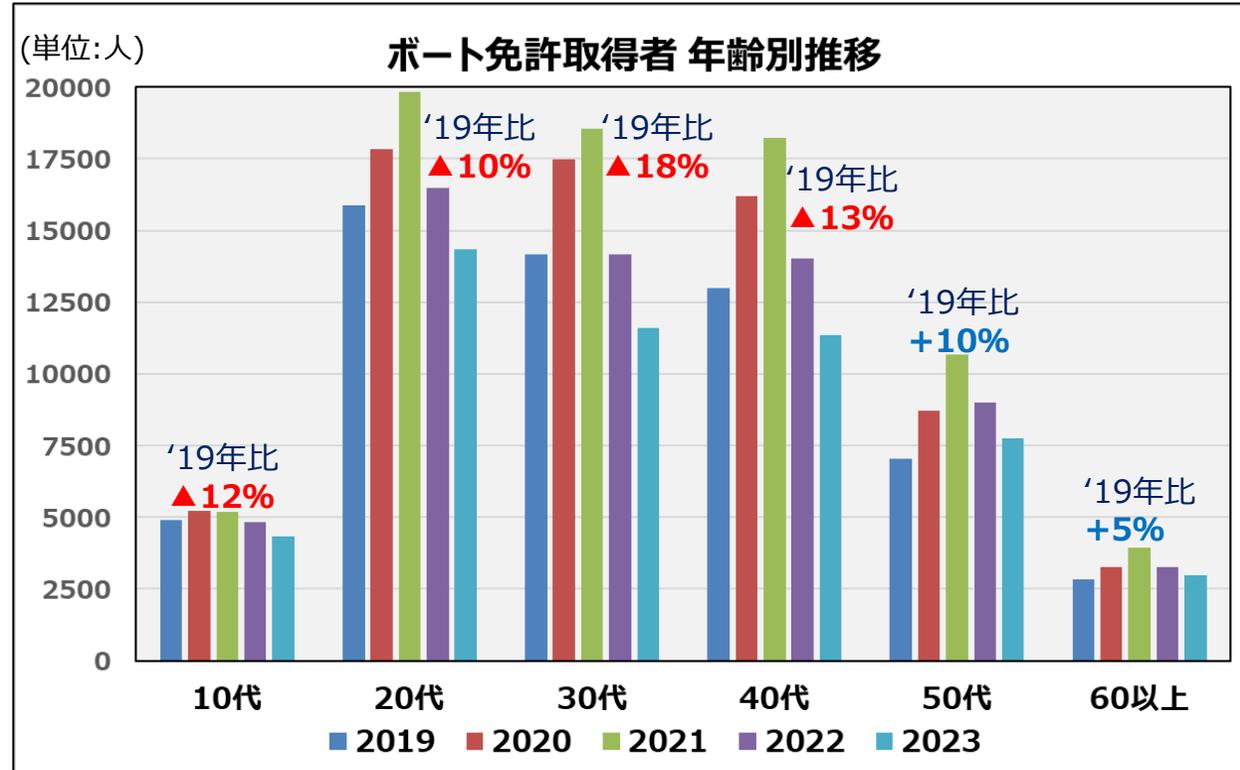
シェアリングの入会者数は、各年代別に'21年ピークに減少傾向

コロナ前'19年比20代～50代は減少。特に30～40代は減少が顕著

シェアリングの減少の方が顕著であり、これは免許取得者へのレンタル情報が十分でない可能性がある



\* 出展：全国主要マリンクラブ



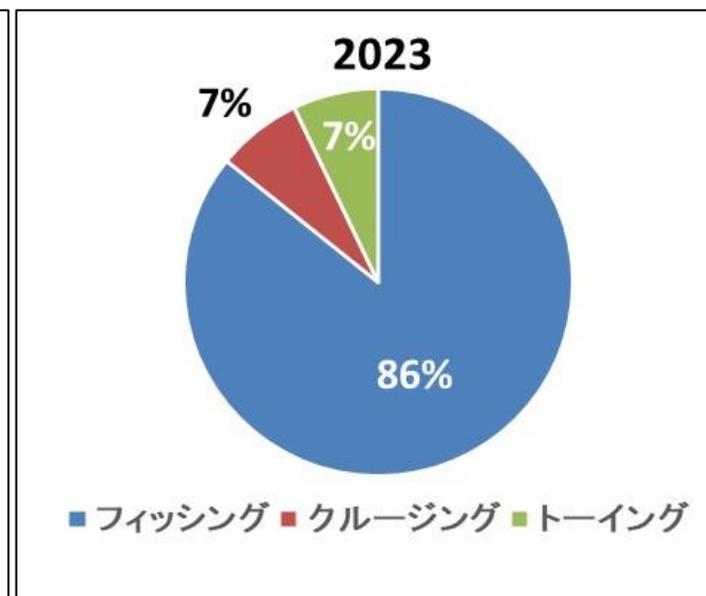
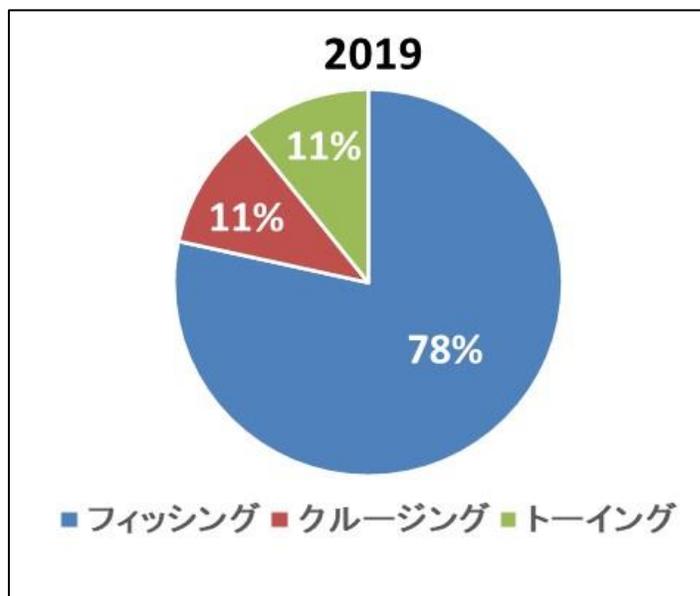
\* 出展：(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会

### 「アフターコロナ シェアリング遊びにも変化」

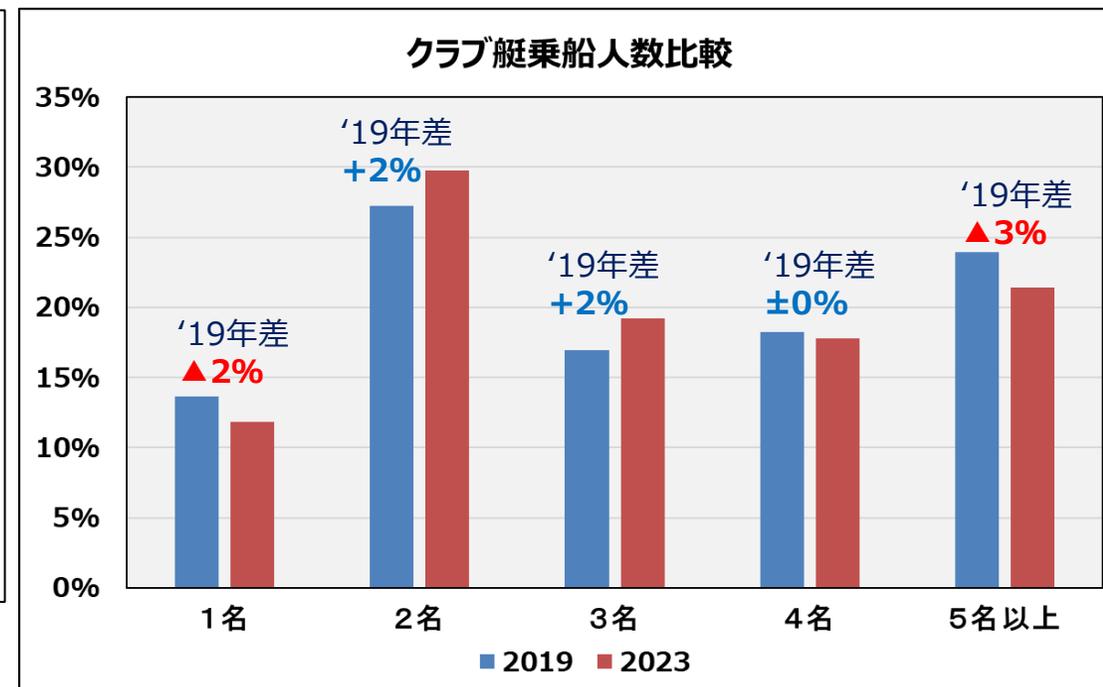
’23年の遊び方は、コロナ以前（’19年）と比較し

**フィッシング**を目的に利用比率（78%⇒86%）が上がる

乗船人数は、1名と5名以上の乗船比率が下がり、友人・家族で楽しむ2～3名の比率が上がる



\* 出展：全国主なマリンクラブ



\* 出展：全国主なマリンクラブ

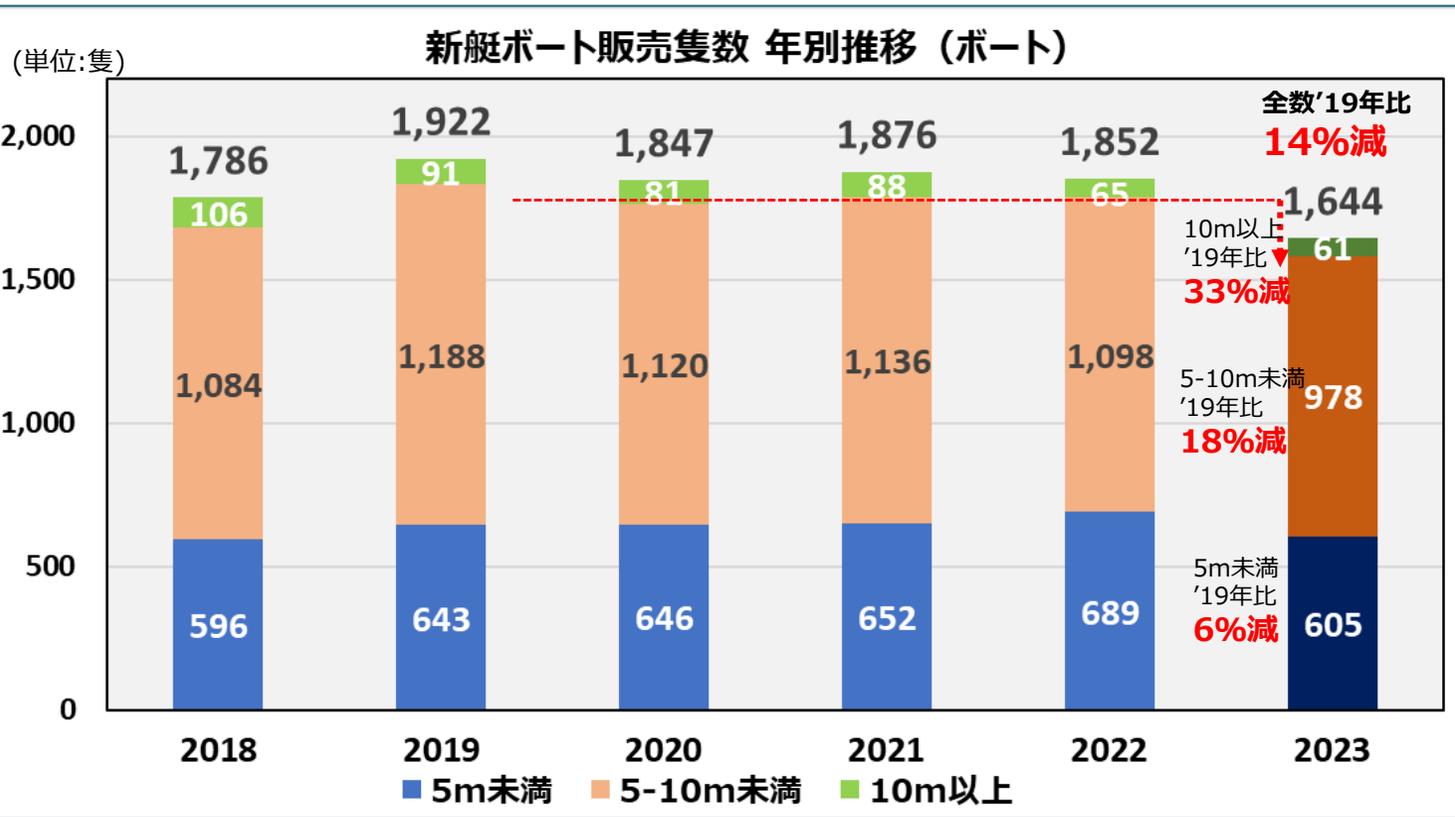
# 3-1.ボート販売規模 年推移 (各年1月~12月)

## 「ボート販売規模はコロナ前より減少」

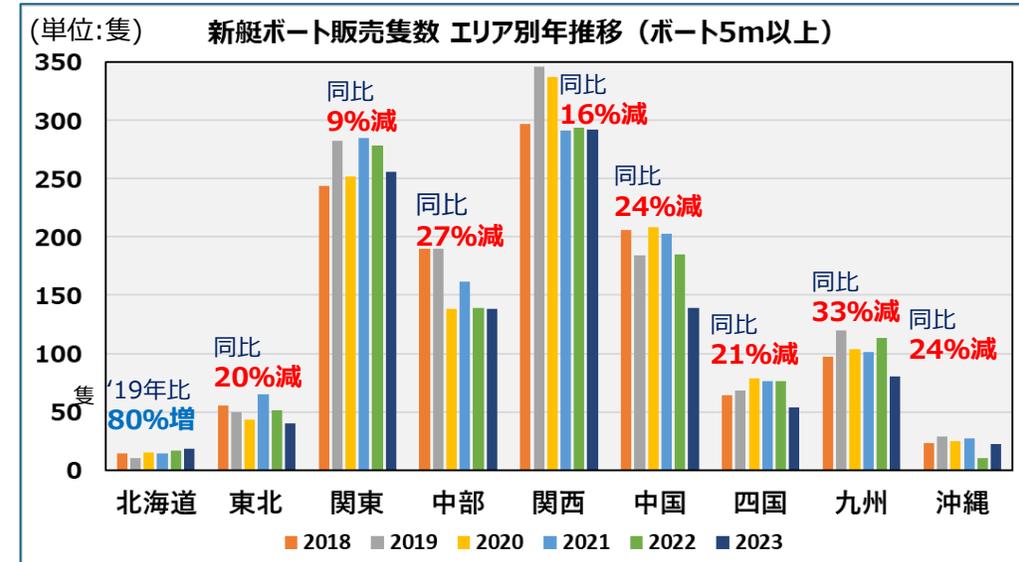
全数:コロナ以前'19年比**14%減** (前年比**11%減**)

5m以上:ボート製造出荷数減と価格改定等でユーザー契約鈍化で減少、'19年比**19%減** (前年比**11%減**)

5m未満:コロナ禍アウトドア志向で伸長傾向から減少。'19年比**6%減** (前年比**12%減**)



データ出典:日本小型船舶検査機構 第1回定期検査数(新造船)  
期間:各年1~12月

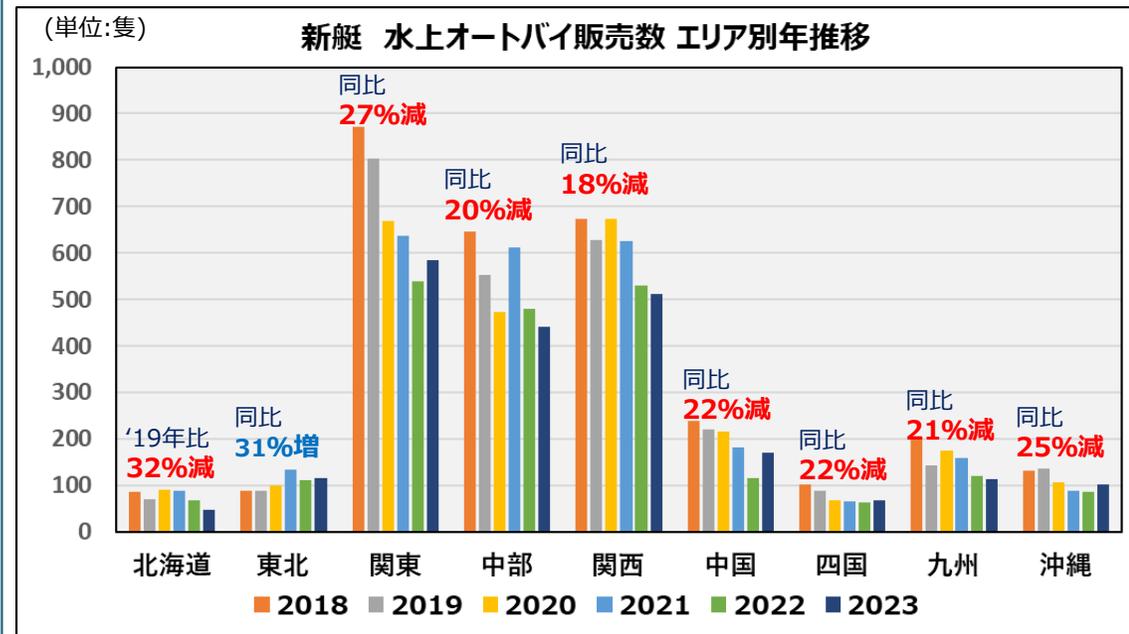
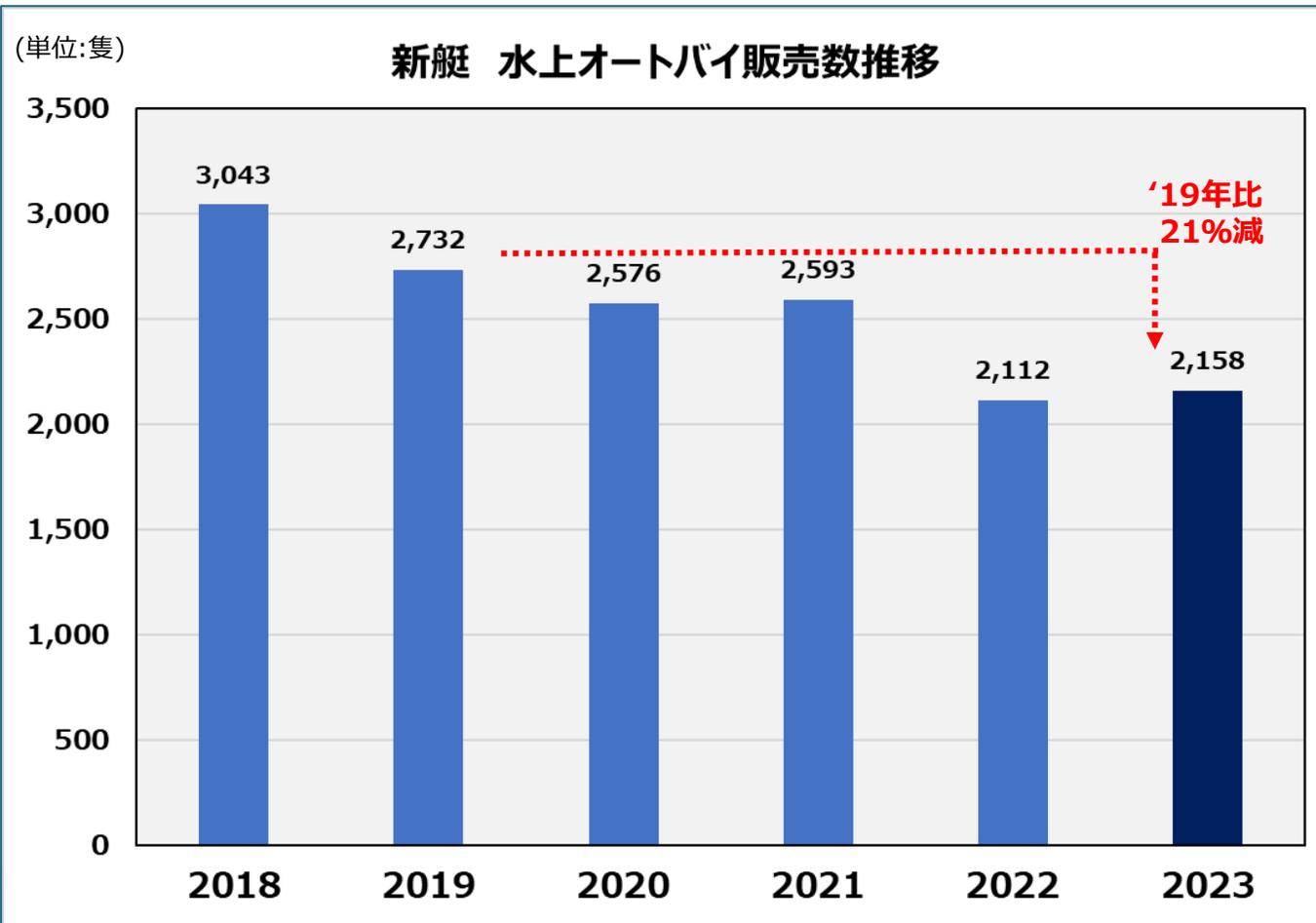


## 3-2.水上オートバイ販売規模 年推移 (各年1月~12月)

「水上オートバイの販売規模はコロナからの国内出荷枠減少より微増」

コロナ以前'19年比**21%減** (前年比**2%増**)

ただし主要メーカー3社の海外製造数の国内出荷数増により、前年からは微増



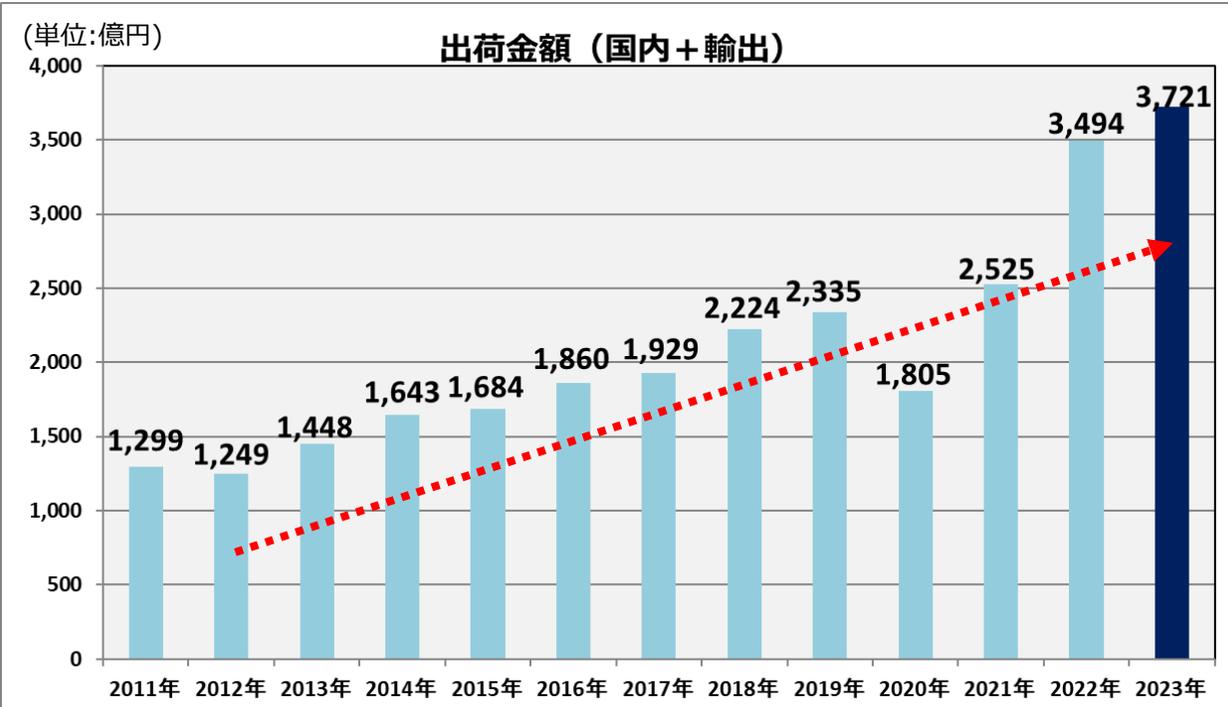
# 4. マリン市場動向 国内メーカー出荷金額・国内市場希望

## 出荷金額 (国内+輸出)

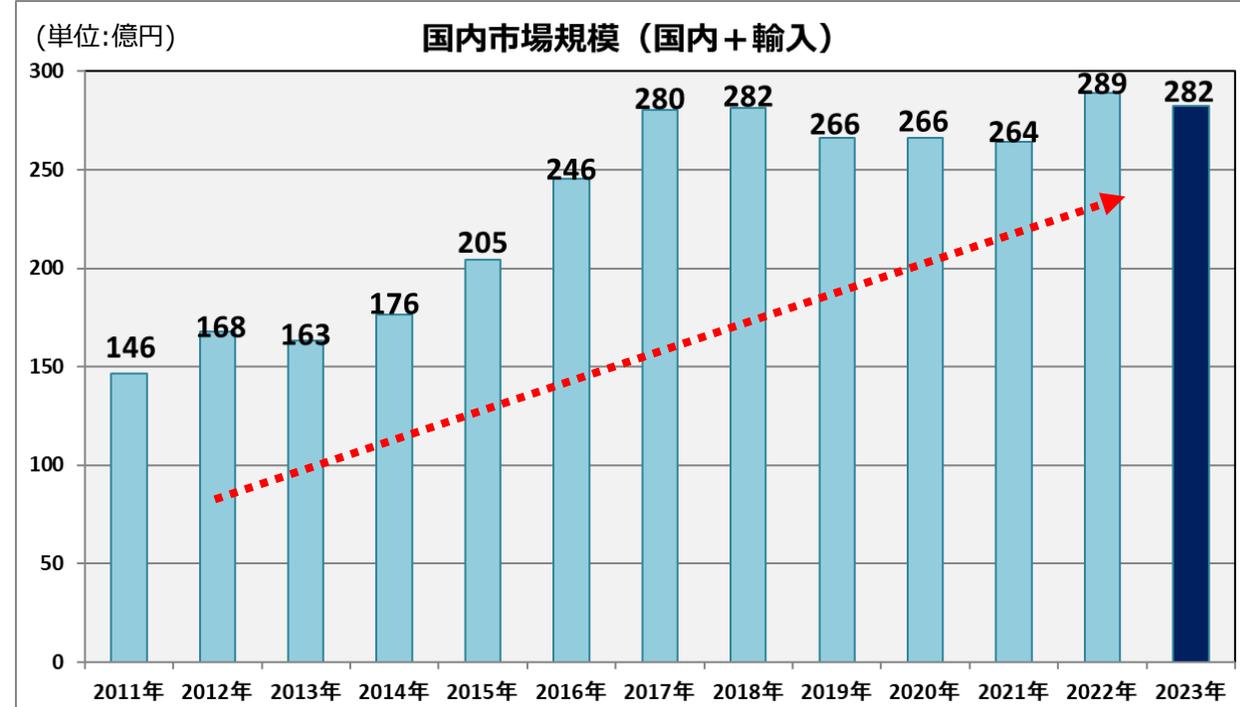
- **約3,721億円** 前年比 **107%** '19年比 **159%**  
輸出船外機が総額比 **96%**

## 国内市場規模 (国内+輸入)

- **約282億円** 前年比 **98%**  
MB 191億円 前年比101% OM 51億円 前年比93%  
PWC 40億円 前年比 91%



\* 出展：(一社)日本マリン事業協会 (速報値含む)



\* 出展：(一社)日本マリン事業協会 (速報値含む)

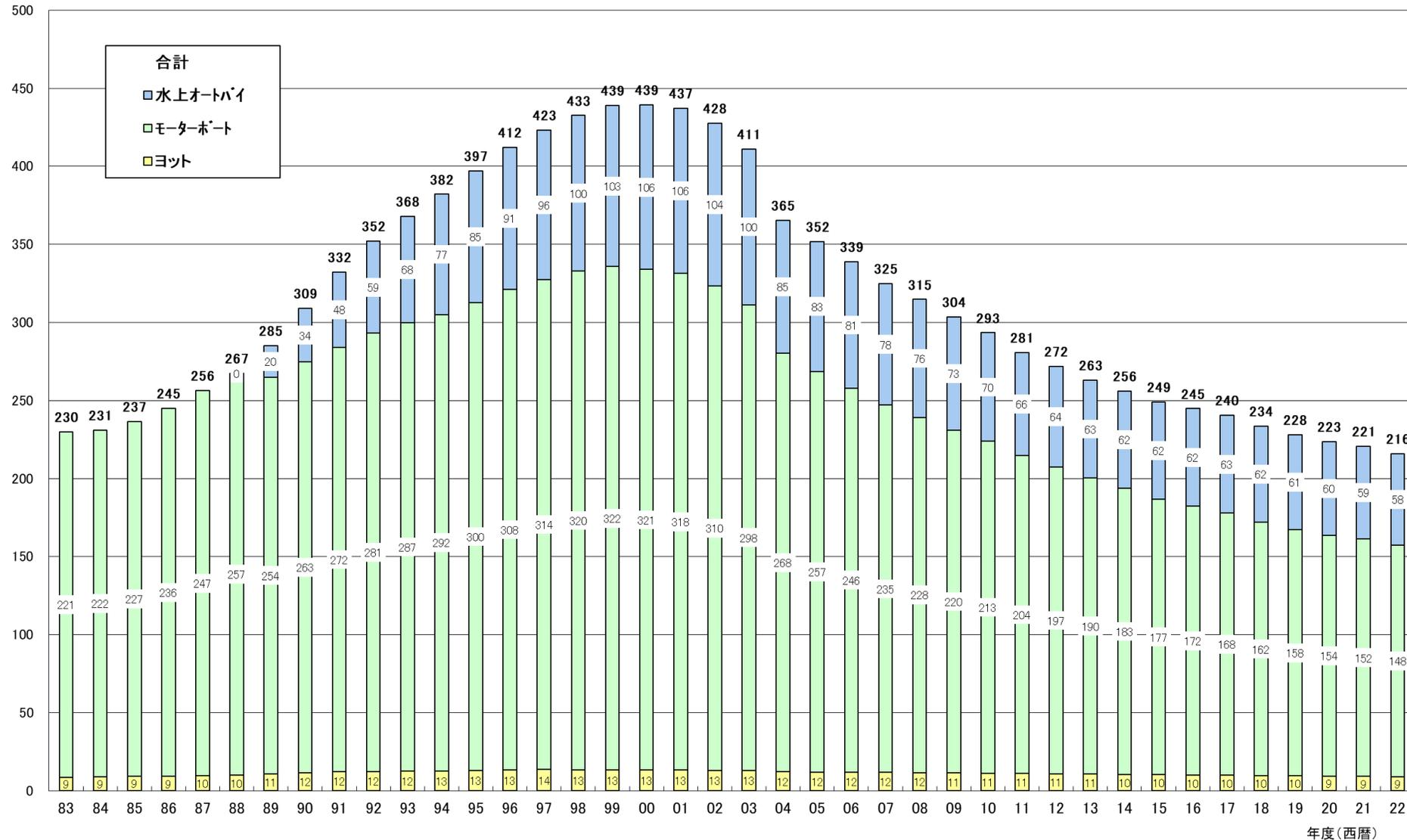
## 《参考》世界の船外機市場

**2022年販売規模 約1,100千台(推計)**  
但し、23年は大幅減少傾向  
日本ブランド船外機シェア 約63%(推計)

MB:モーターボート  
OM:船外機  
PWC:水上オートバイ

(単位：千隻)

プレジャーボート在籍船隻数の推移



※日本小型船舶検査機構検査データを基に日本マリン事業協会にて作成  
モーターボートには遊漁船を含む